はじめに

鹿屋市は、鹿児島県の大隅半島中央部に位置し、北部に日本の自然百選にも選ばれた照葉樹林を含む壮大な高隈山系、南部には神代三山稜の一つ吾平山上陵を有する山林地帯が連なり、中央部に笠野原台地などの広大な台地や肝属川両岸の肝属平野が広がり、西部は波静かな鹿児島湾に面するなど、南北41km、東西 20km におよび多種多様で豊かな自然環境に恵まれています。

本市においては、温暖な気候と自然環境を利用し、農業・畜産業・水産業において高い産出額を誇る我が国の食料供給基地を形成しております。一方で、地域における社会活動の発展により、人が自然環境に及ぼす環境負荷の影響を心配する声も聞かれるようになり、また、地球温暖化に起因する、私たちが経験したことのない災害等も発生しております。

これらのことを踏まえ、私たちは、身の回りの豊かな自然環境を次代の子供たちに引き継ぐために、今後も環境に配慮した様々な取り組みを実施していかなければならないと考えているところです。

今回、新たに策定する「第２次鹿屋市環境基本計画」は、持続可能な開発目標として人と自然が共存する社会を目指し、市・市民・事業者が協働で継続的に取り組む計画とするために、関係者との連携を深めながら、より高い実効性のある計画となるように取り組みの実施・評価・見直しを行うことにしています。加えて、国の「地球温暖化対策計画」で掲げられた温室効果ガスの削減目標を達成するために、「鹿屋市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を組み込んだ計画にしています。

本計画においては、「未来につなごう　ひとと自然環境にやさしいまち　かのや」を将来の環境像として定め、市はもとより市民・事業者の皆様が一体となり、継続して取り組むことで市民運動として定着させることを目指していますので、市民・事業者の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定に当たり、熱心に御審議いただきました鹿屋市環境審議会の委員の皆様、そして、アンケートなどを通じて貴重なご意見をいただきました多くの市民・事業者の皆様に厚く御礼申し上げます。

令和２年３月

鹿屋市長　中西　茂